

<b>Course number</b>	U-LAS01 10005 LJ38				
<b>Course title (and course title in English)</b>	東洋史 I Oriental History I	<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, TSUJI MASAHIRO		
<b>Group</b>	Humanities and Social Sciences	<b>Field(Classification)</b>	History and Civilization(Foundations)		
<b>Language of instruction</b>	Japanese	<b>Old group</b>	Group A	<b>Number of credits</b>	2
<b>Number of weekly time blocks</b>	1	<b>Class style</b>	Lecture (Face-to-face course)	<b>Year/semesters</b>	2025・First semester
<b>Days and periods</b>	Mon.2/Mon.3	<b>Target year</b>	All students	<b>Eligible students</b>	For all majors

#### [Overview and purpose of the course]

##### 「中国の歴史書」

歴史書の編纂とその残存状況は、国や地域によって大きく異なっている。この講義では、古代から連綿と編纂されてきた中国の歴史書について、日本との比較を念頭に置きつつ概説する。皆さんが漠然と思い浮かべている歴史書がどのように作られ、どのように継承・消滅したかについて理解することで、図書館に並ぶ数多の歴史書にどのような背景があったのかについて、思いを馳せてほしい。

#### [Course objectives]

日本列島に誕生した王権がコンタクトを取り始めた時期の中国について、政治・社会・国際環境を中心に理解を深める。中国の諸王朝と周辺諸国との関係を相対的に捉える。

#### [Course schedule and contents]

第1週目を「ガイダンス」にあて、講義内容の概略について説明を行う。

第2週目以降は、以下のテーマについて1～2週を充てて授業を行う。

- 1．歴史書編纂のためのシステム 史官のしごと
- 2．王朝一代記（正史）ができるまで
- 3．歴史書編纂のプロセス（その1）
  - (1) 『春秋』と『左氏伝』
  - (2) 『史記』と『漢書』
  - (3) 『三国志』 分裂時代への対処
  - (4) 『晋書』 分業による歴史書編纂
- 4．歴史書に対する注釈書の成立
  - (1) さまざまな『漢書』注釈書 読書の歴史
  - (2) 『三国志』裴松之注 注釈による歴史史料の増補
- 5．歴史書編纂のプロセス（その2）
  - (1) 『旧唐書』と『新唐書』 歴史書の作り直し
  - (2) 『宋史』 政治闘争と歴史書
- 6．歴史書編纂のプロセス（その3）
  - (1) 『資治通鑑』の編纂 王朝の正統性について
  - (2) 『明史』の編纂 正史編纂の舞台裏
- 7．歴史書の消滅
- 8．まとめ

Continue to 東洋史 I (2)

## 東洋史 I (2)

そして、期末試験（およびフィードバック）

### [Course requirements]

本講義は、同一内容のものを週 2 回開講するので、いずれか 1 つのみを履修登録すること。

### [Evaluation methods and policy]

期末試験（筆記試験。80%）および平常点（20%）による。

### [Textbooks]

必要に応じて、プリントを配布する。

### [References, etc.]

（References, etc.）

内藤湖南 『支那史学史 1』（平凡社東洋文庫）ISBN:9784582805574

内藤湖南 『支那史学史 2』（平凡社東洋文庫）ISBN:9784582805598

### [Study outside of class (preparation and review)]

高等学校の「世界史 B」の該当箇所について、一通り復習しておくこと。

### [Other information (office hours, etc.)]

文系・理系を問わず、向学心に溢れた皆さんの聴講を歓迎します。

### [Essential courses]